

令和3年度
石狩海浜植物保護センター活動報告（案）

石狩市環境市民部

石狩海浜植物保護センター

目次

事業概要

1	普及啓発活動	1
1-1	展示室	
1-2	自然観察園	
1-3	ハマナス再生園	
1-4	環境学習	
1-5	施設外の普及啓発活動	
1-6	情報発信	
2	調査研究	18
2-1	収集・整理・蓄積	
2-2	野外調査	
2-3	調査研究報告等	
2-4	石狩浜海浜植物等保全検討会議	
3	環境整備	23
3-1	施設内の環境整備	
3-2	施設外の環境整備・保全作業	
4	施設利用状況	25
4-1	来館者数	
4-2	施設利用（団体）	
4-3	来館利用者アンケート	
5	保護・回復対策	28
5-1	海浜植物等保護地区の監視	
5-2	石狩浜海浜植物等保護地区（親船地区）の拡大	
	沿革	30

事業概要

石狩浜海浜植物保護センター（以下、「保護センター」と記す）は、将来にわたって自然豊かな海辺環境を残していくため、石狩浜の植生及び海浜生態系の保全を目指し、海岸利用者や市民への普及啓発、海浜生態系や海岸利用に関する調査研究、植生の保護・回復対策などに、市民、研究機関と協働で取り組んでいます。

保護センターは平成12年にオープンし、平成29年度から令和2年度に施設機能のさらなる充実や保全活動等への市民の参加促進を目指し、施設業務の一部を市民団体へ委託することとし、石狩浜の普及啓発活動等に取り組む「NPO 法人いしかり海辺ファンクラブ」に運営委託をしました。

令和3年度からは、市直営での施設運営に移行し、施設の一部であるハマナス再生園の維持管理業務を合同会社いしかり植物ラボに委託する体制で新たな始動となりました。

事業目標は、令和元年度から受託団体とともに築いてきた「Ⅰ. 人と自然をつなぐ」「Ⅱ. 次世代と自然をつなぐ」「Ⅲ. 地域と自然をつなぐ」「Ⅳ. 自然情報を未来へつなぐ」を継承し、事業の構成としては、「1 普及啓発活動」「2 調査研究」「3 環境整備」の3つの柱に基づき、保護センターの機能と役割を見直しながら取り組みました。

主な取り組みとしては、石狩浜の自然情報の発信、令和2年度に海浜植物保護センター20周年事業の一環として取り組んだ「思い出マッププロジェクト」による成果展の開催、環境学習の場としてさらなる活用を図るための環境整備、ハマナス再生園での参加型再生活動およびハマナス再生手法の検討などを進めました。また、調査・研究では、生物多様性の保全に向けた取り組みとして、聚富海岸植生再生試験（調査主体：地方独立行政法人 北海道立総合研究機構）の協力や、ハマボウフウ個体数モニタリングの基礎調査などを実施しました。環境整備では、日常的な敷地内の整備に加えて、建物の老朽化に伴う小規模修繕を行いました。

令和2年度から続く新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、令和3年度は緊急事態宣言の発出に伴い、開館期間中に2度（①5月16日から6月20日まで、②8月27日から9月30日まで）の臨時休館となりました。さまざまな活動が制限されるなか、感染対策をとった施設運営や情報発信を工夫し、臨時休館期間は施設内外の整備業務や環境教育の準備に専念するなど、状況に合わせて幅広い活動を進めることができました。

石狩浜海浜植物保護センター

●市直営業務

- 施設の運営、維持管理
 - ・来館者対応
 - ・館内清掃
 - ・施設修繕
 - ・コロナ対策 など
- 観察園の整備
- 自然情報の収集・蓄積
- 情報発信、展示更新
- 環境学習対応
- 海浜植物等保護地区管理（石狩浜の環境保全）
- 関係機関との連携、調査協力
- 運営委員会事務局
- 石狩浜海浜植物等保全検討会議

- 普及啓発活動
 - ・一般向け参加型イベント
 - ・体験学習等の環境学習支援
- 石狩浜の生物多様性保全の検討
- 海浜植物等の調査
- ハマナス再生プロジェクトの推進

●委託業務

- ハマナス再生園の維持管理および利用者対応、ボランティア活動支援
- ハマナス再生手法にかかる調査・検討
- 石狩浜保全計画に向けた調査・検討

図 令和3年度 石狩浜海浜植物保護センター運営業務

表 事業目標

目 標	事業 カテゴリ	事業の目的	対応する主な事業
I. 人と自然をつなぐ	普及 啓発	<ul style="list-style-type: none"> ▶自然を楽しみ学ぶための情報提供 ▶誘客 	<ul style="list-style-type: none"> ・展示室の整備（展示更新等） ・観察園の整備 ・イベントの実施 ・情報発信
II. 次世代と自然をつなぐ	育成	<ul style="list-style-type: none"> ▶環境学習の支援 ▶自然体験活動の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラムの実施 ・学習ツールの整備 ・ハマナス再生活動と手法検討
III. 地域と自然をつなぐ	地域 連携	<ul style="list-style-type: none"> ▶市民活動の支援 ▶自然とつながる活動への地域的な参加促進 ▶地域との交流の場の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内の整備 ・ハマナス再生園の整備 ・ハマナス再生プロジェクト（I・IIを含む）
IV. 自然情報を未来へつなぐ	情報 蓄積	<ul style="list-style-type: none"> ▶自然情報の収集・蓄積・整理 ▶環境変遷の記録 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然情報の収集・蓄積

1 普及啓発活動

1-1 展示室

(1) 常設展

前年度と同様に、石狩浜の情報、海浜植物の紹介を中心に、季節の自然情報の更新やハマナス再生園の活動情報を随時更しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、触れる展示やクラフト体験コーナーは休止しました。

《令和3年度展示室概要図》



(2) 企画展

●季節ミニ展示「イソスミレ」

【開催期間】4月29日～5月31日

【内容】

石狩浜で春一番に開花するイソスミレを紹介する、季節ミニ展示「イソスミレ」を、開花時期に合わせて実施しました。

●特別企画展「『思い出』からたどる 石狩浜の風景、自然の変化—石狩浜思い出マッププロジェクトより—」

【開催期間】10月7日～11月3日

【内容】

令和2年度に海浜植物保護センター20周年事業の一つとして実施した「石狩浜思い出マッププロジェクト」による成果展を開催しました。地域の方からご協力いただきました聞き取り調査をもとに、石狩浜の思い出に残る「砂浜の変化」「自然の風景」「ハマナスの風景」「遊びの思い出・海の生きもの」について、位置情報を示したマップと合わせて展示しました。また、1960年代から現在に至るまでの石狩浜の風景写真や、保護センターが2000年にオープンした当時の写真なども紹介しました。



特別企画展 ポスター

(3) 掲示コーナー

当センターの情報や石狩浜の自然環境に関する調査情報や学習成果を掲示しました。

《令和3年度 掲示コーナーによる展示・発表・情報紹介等》

期 間	テーマ
4月29日～11月3日	常設展示「フィールドマップ」の自然情報更新（随時）
8月7日～8月26日	掲示コーナー「保護センター2021 情報」の紹介
8月16日～11月3日	掲示コーナー「いしかりカエル便り」【環境課】
10月9日～11月3日	掲示コーナー「フィールド学習まとめ」【緑苑台小学校】



展示室（常設）



季節ミニ展示



特別企画展

1-2 自然観察園

自然観察園では、砂浜からカシワ林にかけて生育する石狩浜の植生を区画ごとに配置し、各区画を来館者が利用しやすい散策路となるよう整備を進めています。令和3年度も、観察園内の要所に案内標識や植物プレートを追加して、海浜植物を身近に親しめる観察園づくりに取り組みました。また、展示室から観察園への誘導を促すため、展示室と自然観察園の出入口に、展示室側に配置した誘導看板「観察園見どころボード」を置き、屋内外の連動性を図りながら自然観察園で見ごろを迎えている季節の植物情報を紹介しました。

「植生再現エリア」の整備では、「砂浜・第1砂丘」「第2砂丘（ハマナス、他）」「つる性植物」「カシワ林縁」「カシワ林」までの「帯状構造復元区」、「ハマナス群落」「石狩浜周辺の植物」「湿地の植物」に区分し、各ゾーンの特色が伝わるよう、除草・剪定・移植作業を行いました。

一般利用向けの観察園内の整備に加えて、環境学習利用に対応するための「環境学習（野外体験）エリア」の整備にも取り組みました。昨年度に引き続き、「ほりほりゾーン」を拡張し、児童や生徒が実際に砂を掘り起こして海浜植物の地下茎や根などを観察しやすいスペースに整えました。

自然観察園内の「植生再現エリア」および「環境学習（野外体験）エリア」の両エリアの充実を図り、野外学習に取り組みやすい環境づくりに重きを置いたことで、コロナ禍の教育支援の場として保護センターを活用いただくことができました。



令和3年度 自然観察園概況

《自然観察園「植生再現エリア」のようす》



带状構造復元区



植物プレートの設置



散策路南側からみた観察園 2021.06.20



東側からみた観察園 2021.07.11



散策路南側からみた観察園 2021.08.22



観察園みどころボード

《自然観察園「環境学習（野外体験）エリア」のようす》



環境学習エリア拡張整備作業のようす



「ほりほりゾーン」

1-3 ハマナス再生園

ハマナス再生園は、石狩浜の原風景の再生を目指す「石狩浜ハマナス再生プロジェクト」の一環として、平成25年から当センターの隣接地7,000㎡を対象にした、ハマナスの苗移植・移植後の除草作業・散策路づくりに取り組みました。

令和3年度は、園内の維持管理およびハマナス再生手法の検討業務を合同会社いしかり浜植物ラボに委託し、保護センターとの業務連携による資料作成や環境学習、石狩浜ハマナス再生プロジェクト協議会による花摘み体験の実施等により、活用されました。普及啓発にかかわる取組では、地域住民や市内外の方を対象とした参加型ハマナス再生活動が行われました。



ハマナス再生園の全景（2021.10.18）

◎「石狩浜ハマナス再生プロジェクト」について

本プロジェクトは、ハマナスの咲く石狩浜の風景を未来に残し、ハマナスをシンボルに自然と共生する地域づくりをめざす、市民・事業者・石狩市による連携プロジェクトとして、平成25年より始動しました。はまなすフェスティバル実行委員会を立ち上げ、普及啓発イベントとして「はまなすフェスティバル」「はまなす広場」の開催（会場：石狩浜海浜植物保護センター）、「いしかり海辺の自然フォトコンテスト」の実施および応募作品巡回展、参加型のハマナス再生活動「ハマナスHealthyタイム」などに取り組んできました。令和2年3月、はまなすフェスティバル実行委員会は解散となりましたが、令和2年4月からは、新たに石狩浜ハマナス再生プロジェクト協議会が発足され、ハマナスが彩る石狩浜の自然景観を次世代へ残すとともに、ハマナスを魅力ある地域資源として活用することを目指し、プロジェクトが推進されています。現在は、石狩浜海浜植物保護センターがハマナス再生園の事業を、石狩浜ハマナス再生プロジェクト協議会がイベント開催やハマナスプロダクツ商品による地域PRを進めています。

(1)「ハマナス Healthy タイム」(道民カレッジ連携講座連携事業)

ハマナス再生園の維持管理を参加型で進める取り組みとして、今年度も「ハマナス Healthy タイム」を実施し、ハマナス再生園内の除草作業や移植作業など、市内外の方々にハマナス再生作業へご参加いただきました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加いただいて実施できたのは、7月8日、10月7日、10月21日の3回となりました。

ご参加いただいた方には、ハマナスの特徴をテーマごとに紹介するカード「ハマナスこばなしシリーズ」を配布しました(カードの作成:合同会社いしかり植物ラボ/令和3年度は第6号まで発行)。

《ハマナス Healthy タイムの実施状況》(主催:合同会社いしかり植物ラボ)

開催日	参加人数	内容
5月13日(木)	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
6月10日(木)	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
7月8日(木)	6	除草作業、播種
8月19日(木)	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
9月9日(木)	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
10月7日(木)	9	苗の移植、除草、播種、剪定
10月21日(木)	9	種まき、ポットの植え替え



除草作業 2021.07.08



ハマナス苗の移植 2021.10.07



除草・播種作業 2021.10.07



参加者への配布資料
「ハマナスこばなしシリーズ」
(作成:合同会社いしかり植物ラボ)

(2) ハマナス再生園散策ガイドマップの作成

ハマナス再生園の概要や見どころを紹介したマップを作成し、園内に看板を設置しました。また、希望者には資料としても配布し、来館者への非対面用の補助資料として利用いただきました。保護センター展示室の常設展にも同内容を紹介しました。



ハマナス再生園散策ガイド（合同会社いしかり植物ラボと保護センターとの共同作成）

(3) はまなす育成サポーター

自宅でものを大きく育て、ハマナス再生園へ戻してもらおう、「はまなすサポーター」の募集について、令和3年度の苗の受渡しは休止しました。苗の返却については引き続き行い、令和3年度は個人の方から2件（5株）の返却をいただきました。

(4) 環境学習支援・体験活動

保護センターで実施する環境学習のテーマに応じて、ハマナスを通じた石狩浜の自然学習、ハマナス苗のポットの植え替え、再生園への移植体験などが行われました。

(1-4. 環境学習支援の取組：《令和3年度 環境学習実施状況》一覧を参照)



ポットのハマナス苗の植え替え



鉢植えで育てるハマナス苗

1-4 環境学習

教育機関から依頼のあった学習テーマに合わせて、展示室・自然観察園・ハマナス再生園を利用した環境学習支援を行いました。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策としては、児童・生徒の活動できる室内スペースの確保に努め、野外体験スペースの拡張整備を行いました。また、一般利用者が環境学習利用時に施設内の混雑状況がわかるように、一般利用者向けに周知する看板を活用し、室内が混雑している場合は自然観察園やハマナス再生園から見学いただくなど、感染対策へのご協力をいただきました。

環境学習の受入れにあたっては、担当教諭との事前打ち合わせにより、来館から退館までのタイムスケジュール、人数に合わせたグループ学習の流れ、猛暑・雨天時の対応、新型コロナウイルス感染対策などを確認しました。また、学習テーマに合わせた配布物を用意し、事前学習や自主学習に活用いただきました。

石狩浜ワークシート(事前学習用紙)

石狩浜って どんどこ？ おきておきたい石狩浜の自然のみどころをざっくりと紹介します。クイズの答えは、インターネットで調べてみたり、保護センターの展示からさがしてみよう。

位置的条件: 石狩浜ってどんな場所にある？

- 日本三大河川・石狩川の河口にある(全長 288km、流域面積 14,336km²)
- 海に面する場所にある

このような条件の場所は、...

- 石狩川の流れにより上流から大量の土砂が運ばれてくる
- 日本海から強い風がふきつける(冬にふく暴風)
- このような環境要因が石狩浜の自然の特徴を生み出します。

石狩浜の自然の特徴

- 砂浜・海岸砂丘がある
- 自然地形を広い範囲に築いている
- 海岸砂丘が広い範囲に広がる
- 日本一大きいといわれるカシワの海岸林がある

石狩浜の自然のはらき

- 海岸特有の生態系を維持している(海岸にしか暮らせない動植物のみかやえさ場となる)
- 緑土の自然景観である
- 自然の地形や植物があることにより自然災害(風害や天候など)をやわらげる

当センターでは、このような自然を守り残す活動をしています。

石狩浜で見られる海岸植物、しぐさ知ってる？知っている名前をあげてみて。

石狩浜を代表する生き物たち、調べて名前を書いてみよう。

1 砂丘に穴をほって巣をつくる生き物は？

2 第一番に高く、石狩川河口が広がるの土壁となっている植物は？

3 緑土にスプレーコロニーをつくる生き物は？

4 ほとんどを葉の裏で過ごし、葉の背側にだけ巣をあらわすカシワの海岸林に暮らす生き物は？

©石狩浜海岸植物保護センター2021

ただいまの館内利用状況

空いています

再生園・観察園から
ご覧くださいようお願いします

石狩浜海岸植物保護センター

011-846-0100 011-846-0101 011-846-0102

ただいまの館内利用状況

混雑中

再生園・観察園から
ご覧くださいようお願いします

石狩浜海岸植物保護センター

011-846-0100 011-846-0101 011-846-0102

ただいまの館内利用状況

少し混雑中

再生園・観察園から
ご覧くださいようお願いします

石狩浜海岸植物保護センター

011-846-0100 011-846-0101 011-846-0102

館内利用状況を周知する表示

配布資料の例「石狩浜ワークシート」

《令和3年度 環境学習実施状況一覧》

実施日	教育機関	テーマ/内容	ハマナス再生園の利用	人数
7/7 (水)	緑苑台小学校 特別支援学級	テーマ：特別支援フィールドワーク (ハマボウフウについて) 内容：校歌にあるハマボウフウのたく ましさについて、石狩浜に生育するハ マボウフウの葉や根に触って観察。	-	3
7/9 (金)	双葉小学校 特別支援学級	テーマ：石狩浜の自然について知る 内容：塗り絵を教材に石狩浜の海浜植 物や動物について学習。	-	12
7/12 (月)	花川北陽認定 こども園	テーマ：ハマナス苗の移植 内容：再生園での苗ポットの移植体 験、これまで移植してきたハマナスの 成長観察。	苗ポットの移植体 験	39
7/15 (木)	花川小学校 3年生	テーマ：石狩の海や自然の良さを学 ぶ 内容：総合学習による見学。 (※クラス毎に2回に分けて実施)	花摘み体験 再生活動紹介	21
7/16 (金)				20
7/19 (月)	石狩八幡小学校 5年生	テーマ：海辺に集まるものを調べてみ よう 内容：展示室で海辺にみられるゴミな ど環境問題について学習。 (※猛暑のため内容を変更して実施)	-	23
8/18 (水)	石狩八幡小学校 5年生	テーマ：海浜植物について 内容：展示・ワークシートによる石 狩浜の自然学習、観察園見学、トラ ンクキットによるレクチャー(※雨天 対応)等		20
10/4 (月)	南線小学校 3年生	テーマ：石狩市の環境について知る 内容：展示室で石狩浜の自然につい て説明、観察園見学(植生変化、植 物に触って観察等)。	ハマナスの話	160
10/14 (木)	石狩中学校 1年生	テーマ：石狩浜の学習 内容：展示解説・ワークシート利 用、石狩浜海浜植物等保護地区の説 明、観察園見学、ハマナスの花・実 の香り体験等。	苗の移植 再生活動紹介	14
10/22 (金)	紅南小学校 3年生	テーマ：自分たちの住む町の豊かさ や多様性、大切さに気付く 内容：展示・ワークシートによる自 然学習、観察園で海浜植物の地下茎 や根を観察等。	ハマナスの話 再生活動紹介	40
利用校・園の数				8
団体利用人数の合計				352

1-5 施設外の普及啓発活動

(1) 特別移動展

【展示名】「思い出」からたどる石狩浜の風景、自然の変化ー石狩浜思い出マッププロジェクトよりー

【開催期間】令和3年12月10日～12月23日

【会場】石狩市民図書館エントランスホール

【内容】冬季閉館期間に、保護センターで開催した特別企画展の内容を移動展にして、石狩市民図書館を会場に再び展示しました。



(2) 近隣施設による施設案内・情報発信

- 石狩市民図書館エントランス掲示コーナー（「いしかり館ネットワーク」）

【内容】保護センターの案内やイベント情報、季節の花に関する情報「石狩浜花ファイル」を掲示しました。また、図書館横の海浜植物花壇との連動を図り、花壇紹介や季節に合わせた見どころを紹介する掲示を行いました。



- 石狩市民図書館 書籍棚コーナー（「いしかり館ネットワーク」）

【内容】令和2年度の展示を継続し、書籍棚を活用した展示コーナーに、保護センターの施設報やクラフト作品を紹介しました。

(3) 協力事業

- 第30回いしかりふるさと探検隊「スタンプ&クイズラリー」

【実施期間】8月1日～8月29日

【対象】石狩市内の小学生 【主催】石狩青年会議所

- いしかりサイエンスフェス2021

【日時】2021年11月14日（日）

①午前の部 10時～12時 ②午後の部 13時～15時 *事前予約

【対象】午前・午後ともに、子ども（定員30名）とその保護者で実施

【場所】道の駅石狩「あいろーど厚田」

【主催】一般社団法人ちせ、CISE ネットワーク共催

【参加内容】「トランクキットから学ぶ石狩浜の自然」のブース出展

- 「ラブアース・クリーンアップ in 北海道 2021」（イベント情報の協力）
 - 【日時】2021年11月2日（火）
 - 【場所】石狩浜海水浴場周辺
 - 【主催】NPO 法人北海道市民環境ネットワーク、うみいく

（7）市内公園等に設置する海浜植物花壇

石狩市民図書館横に設置した花壇で石狩浜の植物を栽培しています。令和3年度も苗の移植やネームプレートを添えるなど、市民が身近に石狩浜の植物に親しめるよう整備を行いました。また、先述のとおり、花壇の整備と合わせて、図書館内の掲示板に花壇を紹介し、見どころを紹介する展示パネルを掲示しました。

《花壇による海浜植物等の栽培状況》

場 所	花壇で栽培した石狩浜の植物
石狩市民 図書館横	イソスミレ、ハマハタザオ、ハマボウフウ、エゾスカシユリ、 エゾカワラナデシコ、ナミキソウ、ハマナス、シロヨモギ、 カセンソウ、テンキグサ（ハマニンニク）、ミヤマアキノキリンソウ、 ノコギリソウ、ナミキソウ



2021.06.17



2021.06.17



2021.08.03



2021.09.16

海浜植物花壇のようす（石狩市民図書館横）

（8）その他

石狩浜の普及啓発を目的として実施していた種子の配布について、自生地以外への人為的な拡散を防ぐことを考慮し、令和3年度は来館者向けの種子配布を実施しませんでした。

1-6 情報発信

(1) 刊行物

刊行物では、通信誌『はまぼうふう』71・72・73号を発行しました。令和3年度の保護センターの活動や石狩浜の自然情報などを紹介しました。印刷版は近隣施設・石狩市立学校・保護センター近隣の町内回覧などにより周知を図りました。また、PDF版をホームページに公開しています。

《令和3年度刊行物発行状況》

刊行物名	内 容
石狩浜海浜植物保護センター通信 『はまぼうふう』	<ul style="list-style-type: none"> ・71号：2021年12月発行 ・72号：2022年1月発行 ・73号：2022年2月発行

▼71号

▼72号

▼73号

表：自然観察園で人と自然をつなぐ
裏：石狩浜海浜植物等保護地区、他

表：自然情報を未来へつなぐ
裏：環境学習による施設利用、他

表：人・自然・地域をつなぐ交流
裏：ハマナス再生園を楽しむ、他



(2) ホームページ

令和3年度のホームページのアクセス数は、*****件でした。

行事情報の更新に加え、新たなページとして「保護センターの海浜植物日記 2021」「石狩浜日記 2021」を追加し、季節の植物情報、石狩浜の様子、保護センターの活動の様子を紹介しました。ホームページの構成や内容の見直しを進めており、利用しやすい情報発信ができるよう今後も検討していく予定です。

《令和3年度石狩浜海浜植物保護センターホームページアクセス数》 (単位：件)

月	4月		5月	6月	7月	8月	9月
件数	1,223		2,191	2,849	1,671	664	511

月	10月		11月	12月	1月	2月	3月
件数	493		257	307	***	***	***

年間計		(4-12月分：10,166件) ***件	月平均	(4-12月分：1,130件) ***件
-----	--	--------------------------	-----	-------------------------

《令和3年度に新設したページ》

●保護センターの海浜植物日記 2021

【内容】保護センターの活動や自然観察園のようすなどを随時更新しました。

【URL】 <https://www.city.ishikari.hokkaido.jp/soshiki/ihama/63676.html>

【掲載数】36件

●石狩浜日記 2021

【内容】海辺で起きているゴミの放置や利用マナーの問題、動植物と人との関わり、自然保護などをトピックに、石狩浜のようすを紹介しました。

【URL】 <https://www.city.ishikari.hokkaido.jp/soshiki/ihama/64418.html>

【掲載数】6件

トピック	
1	「ハマボウフウを保護するために」(2021年4月～5月)
2	「保護地区の車両侵入」(2021年5月)
3	「人と野生動物の“ディスタンス”」(2021年5月～)
4	「石狩浜のごみ -その1-」(2021年4月～7月)
5	「猛暑、雨知らず」(2021年7月～8月)
6	「石狩浜のごみ -その2-」(2021年9月)

(3) 保護センターおよび石狩浜の植物に関連する主な記事

取材対応・情報提供・保護地区手続き等にかかる主な記事は次のとおりです。

《令和3年度 関連記事一覧》

	掲載日	タイトル	掲載面
1	5月8日	石狩浜に春告げる紫 イソスミ し見ごろ	北海道新聞朝刊 (石狩当別版)
2	5月21日	ハマハタザオ浜風に揺れる 石 狩で見ごろ	北海道新聞朝刊 (石狩当別版)
3	6月4日	青紫色鮮やか ハマエンドウ見 ごろ 石狩浜	北海道新聞朝刊 (石狩当別版)
4	6月12日	ハマナス 浜風に揺れ 石狩市 内見ごろに	北海道新聞朝刊 (石狩当別版)
5	6月24日	夏告げるオレンジの大輪 石狩 浜の公園にエソスカシユリ	北海道新聞朝刊 (石狩当別版)
6	7月8日	ハマヒルガオ 浜風に揺れ 石 狩	北海道新聞朝刊 (石狩当別版)
7	7月9日	〈花めぐり〉砂丘彩る白 潮風 にゆらり	北海道新聞夕刊 (社会)
8	9月10日	真っ赤な実 草原に映え 石狩・ はまなすの丘公園	北海道新聞朝刊 (石狩当別版)
9	10月16日	石狩浜ハマナス再生 広がる成 果 プロジェクト9年目	北海道新聞朝刊 (石狩当別版)
10	10月30日	昔の石狩浜語り継ぐ 特別展 地域住民の証言紹介	北海道新聞朝刊 (石狩当別版)

2 調査研究

2-1 収集・整理・蓄積

(1) 自然情報の記録と整理

常設展示の「石狩浜のフィールドマップ」やホームページに更新している石狩浜の自然環境の記録、自然観察園の植物生育状況を中心とした日常的な自然観察記録など、自然情報の記録と収集データの整理を進めました。

(2) 資料・標本の整理、維持管理

保護センターに保管されてきた調査記録・資料・標本・書籍の整理を随時進めました。また、資料・標本関係の保管状態を確認し、保管環境の整備に努めました。

(3) 収集データの活用（成果の公開）

令和2年度に海浜植物保護センター20周年事業の一つとして取り組みました「石狩浜思い出マッププロジェクト」（海浜植物保護センター20周年実行委員会）では、地域の方にご協力いただき、ご自身と石狩浜とのつながりの記憶を収集する聞き取り調査が行われました。これらの成果の一部をまとめた展示を、令和3年度の特別企画展および特別移動展として開催しました（展示名：「思い出」からたどる石狩浜の風景、自然の変化ー石狩浜思い出マッププロジェクトよりー）（1-1-(2)、1-5-(1)参照）。



特別企画展（展示の一部）

2-2 野外調査

(1) 石狩浜の植生変化・遷移に関するフィールド調査

① イソスミレの生育状況調査

【調査概要】

イソスミレ群落の分布状況と群落の状態把握のため、分布を確認した地点のイソスミレを含む植物群落の構成種、植物高、植被率を記録した。

【調査範囲】

石狩浜「無辜の民」周辺、石狩市海浜植物等保護地区親船地区の親船地区、河口地区

【現地調査日】

令和3年8月23日、9月9日

(※この日のほかに、現地の事前確認等を実施)



イソスミレ群落に設置した調査区

② ハマボウフウの生育状況調査

【調査概要】

ハマボウフウの生育状況の把握とモニタリング手法の検討のため、海浜植物等保護地区の3地区に調査区を設け、単位面積当たりのサイズ別個体数、および花茎を付けた個体の数を記録した。

【調査範囲】

石狩市海浜植物等保護地区の弁天地区、親船地区、河口地区

【現地調査日】

令和3年9月6日

(※この日のほかに、現地の事前確認等を実施)



調査区における花茎を付けた
ハマボウフウ

(2) 聚富地区および周辺での植生再生試験の協力

(調査主体：地方独立行政法人 北海道立総合研究機構)

【調査概要】

海浜植物群落や原生花園を維持・再生するための手法を検討するために、聚富原生花園および海側の砂丘草原において、内陸性植物の侵入が著しい地点に、表土を剥ぎ取る「掘取区」、掘り取った土を積み上げる「盛土区」、処理を施さない「対象区」、内陸性植物の侵入がほとんどない地点に「再生目標区」を設置。処理後の植生回復過程の把握や再生目標区のモニタリング等、植生調査を実施した。

(調査期間：令和 2~4 年度 (予定))

(3) ハマナス再生園を利用した海浜植生の保護保全手法の検討

(調査：合同会社 いしかり植物ラボ)

【調査概要】

ハマナス群落を景観資源として維持管理していくための手法を探ることを目的に、これまでの検証試験を継続するかたちで、令和3年度は次の項目について検討した。



維持管理の目標として抽出した
ハマナス群落

- ① 履歴の異なるハマナス群落に対する刈取り効果
- ② チガヤが優勢となったハマナス群落の効果的な維持管理手法
- ③ 移植時の施肥と密度の効果
- ④ 苗齢の違いによる移植後の生育の効果
- ⑤ 衰退群落内への苗移植の効果
- ⑥ 残存区の遷移モニタリング
- ⑦ 目標ハマナス群落の抽出

2-3 調査研究報告等

(1) 令和3年度の調査研究報告等

《調査研究報告等》

書誌情報

- 1 内藤華子*・寒河江洋一郎・高橋恵美* 2021 「石狩川河口左岸における2009年から2020年までの侵食状況について」『いしかり砂丘の風資料館紀要』第11巻, 15-24頁.
 - 2 荒山千恵* 2021 「石狩川河口地域で採集された植物標本について」『いしかり砂丘の風資料館紀要』第11巻, 51-56頁.
-

(*石狩浜海浜植物保護センター)

(2) これまでに発行した石狩浜海浜植物保護センター調査研究報告

≪「石狩浜海浜植物保護センター調査研究報告」一覧≫

	タイトル	号数	刊行年	発行
1	石狩浜における植生モニタリング区の設置と14年間の植生変化(2002年度石狩浜海浜植物保護センター調査研究報告)	第1号	2006	石狩浜海浜植物保護センター
2	石狩川河口湿地部における植生モニタリング区設置と植生概況(2003年度石狩浜海浜植物保護センター調査研究報告)	第2号	2006	石狩浜海浜植物保護センター
3	石狩海岸林の植生概要(2004年度石狩浜海浜植物保護センター調査研究報告)	第3号	2006	石狩浜海浜植物保護センター
4	石狩浜定期観察による植物開花状況の記録(2004/2005)	第4号	2006	石狩浜海浜植物保護センター
5	石狩浜定期観察による植物開花状況および野鳥の記録(2006)	第5号	2009	石狩浜海浜植物保護センター
6	聚富海岸の植生概況	第6号	2009	石狩浜海浜植物保護センター
7	石狩浜定期観察による植物開花状況および野鳥の記録(2007)	第7号	2009	石狩浜海浜植物保護センター
8	1989年以降に記録された石狩浜の植物種リスト	第8号	2009	石狩浜海浜植物保護センター
9	2008年から2010年の石狩浜定期観察による植物開花状況等の記録	第9号	2012	石狩浜海浜植物保護センター
10	石狩川河口部砂嘴における植生分布の変化	第10号	2012	石狩浜海浜植物保護センター
11	石狩川河口右岸地区におけるイソスミレの探索結果(2018年度石狩浜海浜植物保護センター受託事業報告書)	第11号	2022 (予定)	石狩浜海浜植物保護センター
12	石狩浜のハマボウフウの生育状況の地区別比較(2018年度石狩浜海浜植物保護センター受託事業報告書)	第12号	2022 (予定)	石狩浜海浜植物保護センター

(3) これまでに発行された調査報告

石狩市が発行した石狩浜に係る自然調査報告は以下のとおりです。

《植生に関する調査報告》

	タイトル	刊行年	発行
1	石狩湾新港地域海浜植生調査報告書 ／別図（植生分布図）	1976	石狩町
2	石狩海浜地区植生調査委託業務	1989	石狩町・日本データサービス
3	石狩川河口地域植物調査報告書	1989	石狩町
4	石狩川河口地域植物調査追加報告書	1990	石狩町
5	石狩町植生概況調査報告書	1996	石狩町・石狩町緑化推進協議会

《野鳥に関する調査報告》

	タイトル	刊行年	発行
1	石狩市野鳥生息概況調査報告書（平成8年度）	1996	石狩市
2	石狩浜の野鳥リスト（1997～2009）	2009	石狩市

2-4 石狩浜海浜植物等保全検討会議

【概要】

石狩浜海浜植物等保護地区及びその周辺の海浜植生再生活動を推進し、地域の生物多様性の保全再生等に資することを目的とした協議検討をおこなう。

＝主な検討事項＝

○海浜植物等保護地区聚富地区とその周辺の海浜植物再生手法の検討

・関連：2-2-(2) 参照

○石狩浜の生物多様性保全の検討

・保全手法検討にかかる現状と課題の整理、目指す姿・行動目標の検討

【委員】

会長	長谷川 理（特定非営利活動法人 EnVision 環境保全事務所）
副会長	松島 肇（北海道大学大学院 農学研究院）
委員	西川 洋子（地方独立行政法人 北海道立総合研究機構）
委員	山本 亜生（小樽市総合博物館）
委員	内藤 華子（元・石狩浜海浜植物保護センター）

【会議】

第1回：令和3年8月31日（火）（※オンライン会議）

第2回：令和4年2月24日（木）（※オンライン会議）

3 環境整備

3-1 施設内の環境整備

(1) 保護センター施設整備（小規模修繕の継続）

施設の老朽化・維持管理に伴う小規模修繕を進めています。令和3年度は、①自然観察園内の園路木道修繕、②保護センター建物外壁修繕を行いました。

(2) 施設の新型コロナウイルス感染拡大防止対策

新型コロナウイルス感染防止対策として、開館前・閉館後や開館時間中の定期的な消毒作業や換気を行いました。触れる展示やクラフト体験は休止とし、施設内ではソーシャルディスタンスを保てる環境づくりに努めました。ご来館される皆様には、「マスク着用」「手指消毒」「密にならない」ことをお願いする掲示を外看板に掲示し、出入口・お手洗い・アンケートコーナーに消毒液を置いて手指を消毒していただくなど、感染対策にご協力をいただきました。また、施設の出入口フードには、館内の混雑状況のわかる掲示物を置き、環境教育などの団体利用時には、一般来館者の方に空いているスペースからご覧いただくご案内をするなど、密にならないご利用をお願いしました（1-4 参照）。

令和3年度は、開館期間中に緊急事態宣言の発出に伴い、二度の臨時休館となり、施設掲示板やホームページ等により施設の臨時休館情報を周知しました。この期間に実施した環境整備としては、館内展示物の作成や補修作業、環境教育支援に向けた野外体験スペースの整備、海浜植物花壇の手入れ（石狩市民図書館横）、石狩市民図書館内の案内掲示の整理・補修・更新、石狩浜の誘導ロープの撤去作業などを行いました。



入口の外看板



外看板の表示「ご来館のみなさまへのお願い」



施設外壁掲示板による臨時休館周知



出入口の消毒液設置と混雑状況の掲示

3-2 施設外の環境整備・保全作業

石狩浜の自然に親しみやすい環境づくりのため、例年、施設周辺の観察路の維持や外来植物の除去に取り組んでいます。

はまなすの丘の木道周辺は、多くの観光客や散策者が訪れ、石狩川河口の海浜植物群落の景観を楽しむ場所ですが、ニセアカシア、カモガヤなどの外来植物及び内陸性植物のススキ、アキグミが増加し、景観が損なわれつつあります。景観保全のため、木道周辺の外来植物等の除去に取り組んでいます。これまで年2回（春季・秋季）、企業の社会貢献活動や市民ボランティア団体をはじめとする多くの方々に参集いただき、実施してきた景観保全作業ですが、令和2・3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い実施しませんでした。海浜植物等保護地区監視員に協力いただきながら、日常的な作業の一環で外来種除草作業を実施し、はまなすの丘公園内の散策誘導ロープや植物名プレートの設置・撤去作業を行いました。



令和元年度まで年2回のイベントとして景観保全作業を実施していた「はまなすの丘公園」の木道周辺の様子（2021.09.29）



植物プレートの設置



誘導ロープの撤去作業

4 施設利用状況

4-1 来館者数

(1) 年度別にみる来館者数の比較

令和3年度の開館期間中の来館者数は1,924人でした(令和元年度来館者数8,638人、令和2年度来館者数2,957人)。令和元年度・令和2年度・令和3年度就来館者数の月変化と年度比較、平成12年度からの来館者数の年変化は、以下のグラフに示したとおりです(図4-1、図4-2)。新型コロナウイルス感染拡大防止のため5月16日～6月20日、8月27日～9月30までの2度の臨時休館のため、月別来館者数の5月および9月の来館者はありませんでした。

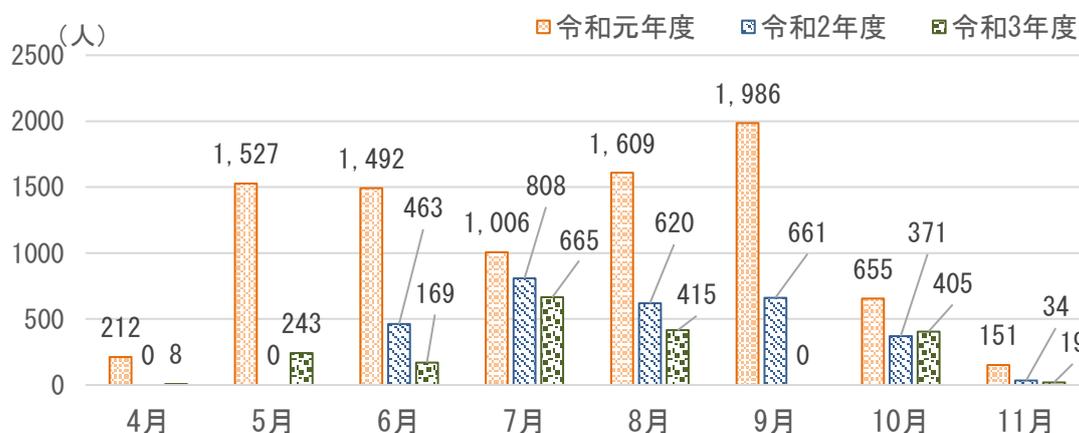


図4-1 令和元年度・令和2年度・令和3年度就来館者数の月変化と年度比較

※R2. 4. 29～R2. 6. 7まで臨時休館(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

※R3. 5. 16～R3. 6. 20、R3. 8. 27～R3. 9. 30まで臨時休館(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

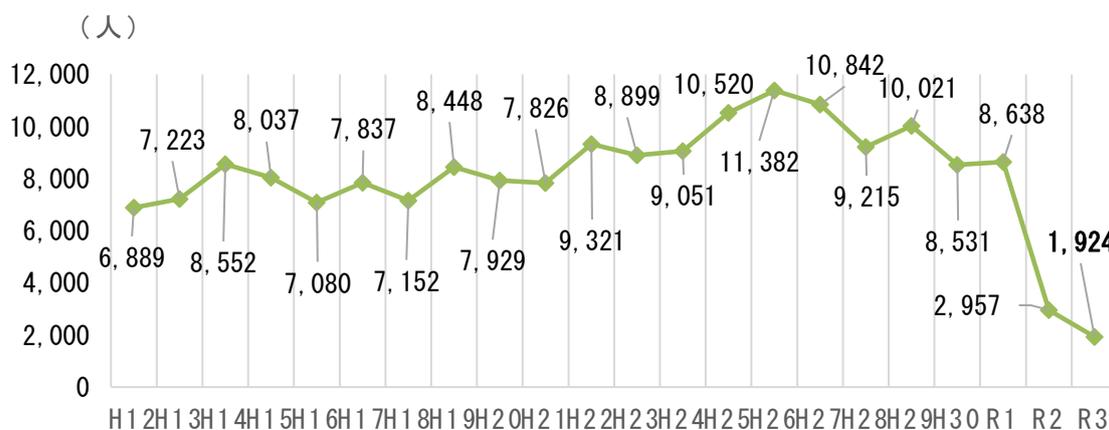


図4-2 平成12年度～令和3年度就来館者数の年変化

※R2. 4. 29～R2. 6. 7まで臨時休館(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

※R3. 5. 16～R3. 6. 20、R3. 8. 27～R3. 9. 30まで臨時休館(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

(2) 利用目的と来館者内訳

令和3年度の来館者数の内訳として、一般来館者と教育施設利用者との人数の割合をグラフに示しました(図4-3)。臨時休館後の7月・10月には、環境学習や自然学習の場として多くの利用がありました。



図4-3 令和3年度の来館者数の内訳

※R3.5.16~R3.6.20、R3.8.27~R3.9.30まで臨時休館(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

4-2 施設利用(団体)

団体施設利用の状況では、モニターツアーや講座等による7団体の利用がありました。(教育機関の団体利用は、「1-4 環境学習」参照)

《令和3年度石狩浜海浜植物保護センター団体利用状況》

	団体利用の月日	団体利用の人数
1	6月26日(土)	10人
2	7月23日(金)	11人
3	7月25日(日)	17人
4	10月3日(水)	12人
5	10月11日(月)	6人
6	10月13日(水)	12人
7	10月17日(日)	8人

4-3 来館利用者アンケート

【概要】

石狩浜海浜植物保護センターでは、実施するサービスに対する市民等の利用状況や意識、要望等を把握し、今後の保護センターの運営に役立てるため、来館者を対象にアンケート調査を実施しています。令和3年度は例年実施してきたアンケートの内容を一部見直し、設問および回答項目について、より具体的なアンケート結果が得られるよう改訂しました。見直し期間は休止していたため、8月13日より再開し、11月3日まで実施しました（この期間のうち、火曜休館および臨時休館期間 8月27日～9月30日を除く）。

【調査方法】

- ・保護センター内にアンケート用紙と回収トレイを設置
- ・「消毒済み」「使用済み」2つの筆記具収納ケースを配置（コロナ対策）

【改訂アンケートによる集計結果】

- ・別紙のとおり

The image shows a survey form with the following sections:

- Header:** 石狩浜海浜植物保護センター 利用者アンケート
- Q1:** 最近来館について伺います。当てはまる項目に○を記入してください。
1. 石狩市 2. 札幌市(区) 3. 道内 4. 道外
- Q2:** 年代について伺います。当てはまる項目に○を記入してください。
1. 20歳未満 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60歳以上
- Q3:** 当センターのご利用に關して伺います。
Q3-1. 当センターは年に何回ご利用されますか。
Q3-2. 本日の来館目的を教えてください。(複数回答可)
Q3-3. 当センターをお訪ねになったきっかけを教えてください。
Q3-1 table:

1. 始めて	2. なんとなく入ってみた	3. 通りがかり
2. 年に1回	2. 体験・イベント	2. 新聞・雑誌
3. 年に1回以上	3. 関係情報を伝えるため	3. 広報しきり
4. 年に1回以上	4. 石狩市の自然を知りたい	4. 当センターホームページ
5. その他	5. 保護活動について知るため	5. 他施設での情報
	6. 当センターのイベントへの参加	6. その他(具体的に)
	7. 観光	
	8. その他(具体的に)	
- Q4:** 当センターをご利用になって面白かったり、興味深いと感じた展示や活動はありましたか。当てはまる項目すべてに○を記入してください。
1. 特になかった
2. 季節の自然情報(まごゆめ、アークビートルなど)
3. 石狩浜の自然に関する展示(※下記のある場合は必ず回答に○を記入してください)
海浜植物保護のまごゆめ、地産のなつたろ、石狩浜の自然、海浜植物、海辺のそと物産展示館、その他()
4. 観察園
5. 石狩浜ハマナス国生プロジェクト、ハマナス園を鑑
6. その他()
- Q5:** 館内の展示はわかりやすかったですか。当てはまる位置に○を記入してください。
わかりやすい 良くない どちらでもない
- Q6:** 当センターを、また利用したいと思えますか。当てはまる位置に○を記入してください。
利用したい 利用したくない どちらでもない
- Q7:** 次のうち、参加したいと思うイベントやボランティア活動はありますか。当てはまる項目すべてに○を記入してください。
1. 参加したいとは思わない
2. 自然観察会
3. 石狩浜の自然や海浜植物の存在に関する講演会
4. ハマナスヘルシータイム(ハマナス再生圃の見学ボランティア)
5. はまなす養成ボランティア(ハマナス再生圃へ移植するための苗を自宅で育てる活動)
6. 石狩浜自然館の準備活動のための作業作業
7. 市民参加型自然観察会(ハマゴウやアサギのモニタリング調査)
8. 外来動物の捕獲・駆除(アスマヒナガエルなど)
9. 石狩浜のゴミ拾い活動
10. その他()
- Q8:** 当センターへのご意見、期待することなど、ご自由に記述ください。
本アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。
本館主催収蔵品に記入ください。
石狩環境事務所 石狩浜海浜植物保護センター

改訂後のアンケート（表・裏）

5 保護・回復対策

5-1 海浜植物等保護地区の監視

7「河口地区」、「聚富地区」、「弁天地区」、「親船地区」において、4月から9月まで監視員2人により、ハマボウフウなど海浜植物の採取や、バイク等の乗入れ等を防ぐための監視を行いました。

石狩川左岸側の「河口地区」、「親船地区」、「弁天地区」では、春先の4～5月はハマボウフウの採取者が多く、海水浴シーズンは、キャンプ等で保護区内に侵入する利用者が増える状況にあり、監視による抑止効果は大きいと思われます。

石狩川右岸側の「聚富地区」では、期間を通じて植物の採取や車両の侵入は見られませんでした。

5-2 石狩浜海浜植物等保護地区（親船地区）の拡大

親船地区西端から石狩湾新港東側（3線浜）にかけての約2.6kmの海岸保全区域には、北海道空知総合振興局札幌建設管理部（旧札幌土木現業所）が、「石狩湾沿岸海岸保全基本計画」（平成15年、北海道）に基づき、平成17年より車乗り入れ防止柵を設置しています。この地域においては、サンドバギー車やモトクロスバイクの植生上への侵入が頻繁に確認され、特に石狩湾新港側から侵入していることがわかっています。海岸管理者は、ロープの補修等侵入防止対策を施していますが、侵入は後を絶たない状況です。

海岸管理者及び石狩市等からなる石狩浜環境保全連絡会議では、平成25年に指定した「弁天地区」・「親船地区」において、市条例に基づく保護地区指定の効果の検証を行い、効果が見られるようであれば、柵の強化対策に伴い段階的に当該地域へ保護地区を広げていくという方向性で一致しています。「親船地区」から西側（東埠頭側）に約1.2km、面積約15haの保護地区を拡大するにあたり、平成29年度に石狩市環境審議会へ諮問し、答申を受けました。平成30年5月1日施行により「親船地区」は27.0haに拡大され、保護地区全体の面積は54.3haとなりました。新たな区域にも看板や車両侵入防止柵の設置を行い、海岸植生等の保全に努めています（図5-1）。



図 5-1 海浜植物等保護地区の位置および車乗り入れ防止柵設置区域

沿 革

石狩浜海浜植物保護センター開設の目的

石狩海岸地域は、北海道自然環境保全指針において「すぐれた自然地域」に指定されるとともに、大都市近郊において、海岸砂丘の生態系を色濃く残す自然海岸として、全国的にも大変貴重な地域となっています。しかし、美しい海浜植物や雄大な海浜景観は、レジャーをはじめとする過度な利用により、次第に失われつつあります。

このような状況において、豊かな海辺の自然を市民共有の財産として保全し、後世へ残して行くためには、市民、行政、研究機関とが協働して普及啓発活動や調査研究活動に取り組むことが不可欠です。石狩浜海浜植物保護センターは、その活動拠点として、平成12年4月に開設されました。

施設概要と業務内容

名 称	石狩浜海浜植物保護センター
所在地	石狩市弁天町 48 番地 1 tel.0133-60-6107 fax.0133-60-6146
規 模	敷地面積：11,244.1 m ² センター／木造2階建、延床面積：259.5 m ² 、建物高：10.9m 温 室／鉄骨造平屋建、延床面積：42.5 m ²

施設は、①海浜植物の保護に係る調査・研究、②石狩浜保全への啓発、を目的としたもので、屋内は、大きく展示室と実験室、屋外は、温室と観察園、再生園に分かれています。

展示の方針は、来館者に海浜植物をはじめとする石狩浜の自然情報の提供や保全活動状況の紹介、作品展示などを行うことができる、更新性を備えた市民参加型の展示としています。また、展示室は研修機能を備え、フィールドと一体となった研修の場を提供しています。

観察園は、石狩浜に生育する海浜植物を一堂に集め、その生態観察の場となっています。また、再生園では、ハマナスを中心とした海浜植物の再生と活用の場として整備しています。

調査研究機能としては、保全に向けた海浜植物の生態研究のために、実験室、および研究対象植物を育成するために温室が備わっています。また、観察園の一部も、調査・試験区として利用することができます。

以下、保護センターにおける主要業務を示します。

○啓発・普及業務

展示施設・自然観察園・ハマナス再生園の整備・更新

施設見学者への対応

講座・観察会等の開催

市民に対する情報提供・機関紙の発行・ホームページの管理・運営

ボランティア・各種団体・研究機関との連絡調整

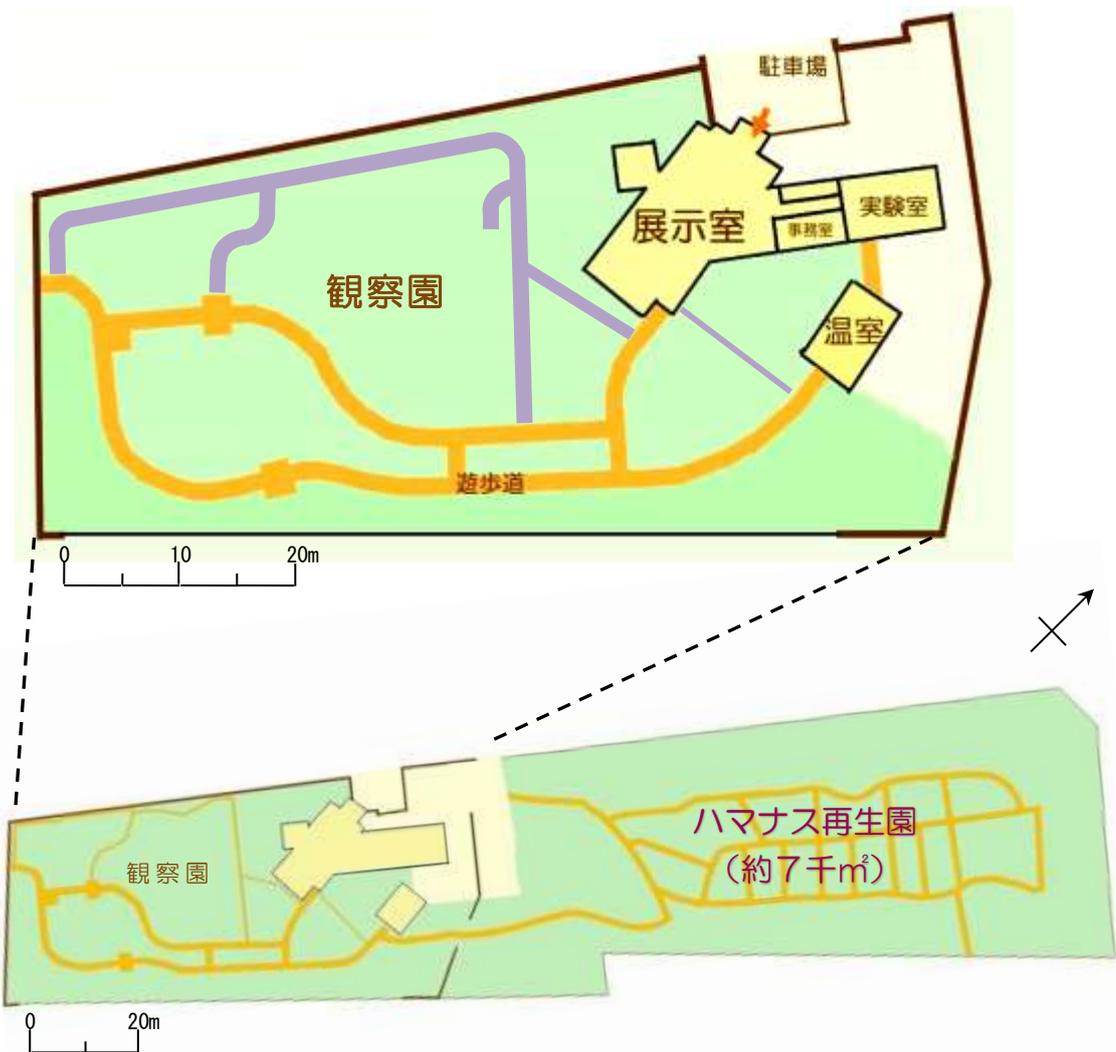
○調査・研究業務

石狩浜の動植物の生息、生育状況に関する調査

海浜植生の保全に係る調査研究と実施

海浜植物の保護・保全計画の立案と実施

ボランティアグループの調査研究活動支援



石狩浜海浜植物保護センター施設略図

石狩浜海浜植物保護センター利用案内

開館期間 4月29日～11月3日

開館時間 9時～17時

休館日 火曜日（祝日の場合はその翌日）

入館料 無料

駐車場 あり

交通 北海道中央バス「札幌バスターミナル」発
「石狩」行き約60分 「石狩温泉前」下車
徒歩5分



◆石狩浜海浜植物保護センター運営委員会名簿

(第11期：令和2年4月1日～令和4年3月31日)

会 長	松島 肇 (北海道大学大学院農学研究院)
副会長	安田 秀子 (石狩浜夢の木プロジェクト)
委 員	山本 亜生 (小樽市総合博物館)
委 員	溝渕 清彦 (公益財団法人 北海道環境財団)
委 員	西川 洋子 (地方独立行政法人 北海道立総合研究機構)
委 員	宮本 尚 (特定非営利活動法人 北海道市民環境ネットワーク)
委 員	森 幸二 (いしかりガイドボランティアの会)
委 員	更科 美帆 (リンクアス)
委 員	田畑 博 (公募)

令和3年度石狩浜海浜植物保護センター活動報告書（案）

令和4年●月 発行

発行 石狩市

編集 環境市民部石狩浜海浜植物保護センター

開館期間中 〒061-3372 石狩市弁天町 48-1

tel.0133-60-6107 fax.0133-60-6146

冬季閉館中 〒061-3292 石狩市花川北6条1丁目 30-2

tel.0133-72-3269 fax.0133-75-2275

E-mail ihama@city.ishikari.hokkaido.jp

HP <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/site/kaihinsyokubutu/index.htm>